

AIマスクはいかがですか？

AIのその先へ

4年 S・Nさん

この本の世界はマスクをつけることが当たり前です。そんな時代だからこっそりつけることができたAIマスクです。主人公たちは、AIマスクをつけることで、苦手だったことに挑戦し、できるようになり、AIマスクなしでも挑戦できるようにになりました。

ほくにとつてはAIマスクは挑戦するきっかけとしてはあまり必要ありません。なぜなら、最初は自分からチャレンジしたいと思えるからです。本の中にでてくるAIマスクのようにぼくになじんで一番ほしい言葉で励ましてくれるところは、きょうみがあります。ものごとを始めることが一番難しいとはよく聞きますが、続けることも同じぐらいかそれ以上に大変です。そんな時にがんばれる応援があればうれしいと思います。

本の中に出てくるAIマスクを利用して人が人をはげますという大久保先生の発想がすごいと思いました。自分たちから学習するAIからさらに自分たちが学習して励まし方を学び、そこに人と人ならではの助け合いが入ることでAIを超えることができます。AIを利用するだけでなく、AIとも助け合うという未来はいいなと思いました。やはりぼくも心が折れそうなきはがんばれと顔を見て言わたいです。

マスクはかんせんしょうから自分を守ってくれたり、周りの人を守るものだと思います。けれど、顔が半分しか見えないと相手の思っていることが読みとりにくく、表情が見えません。そんなマスクに少し自分をかくすことができることもあります。そのような時代はあまり続いてほしくないと思います。

AIマスクが与えてくれたきっかけで、各自の問題を乗り越えたのは本人です。なので、どんな手助けがあっても、本人の意志が一番大切なのだと思います。